

# 健康増進法改正の3ポイント

- 1 「望まない受動喫煙」をなくす
- 2 健康への影響が大きい子どもや病気の人に特に配慮
- 3 施設・場所ごとに喫煙できる場所、できない場所を明らかに。喫煙できる場所の掲示を義務づけ

## 外国のたばこのパッケージは健康警告表示がインパクト大



- 健康警告表示
- 画像の健康警告表示
- 統一された書体の銘柄表示

オーストラリアの「プレーンパッケージ」は画像を含む警告表示以外は統一された書体の銘柄表示のみ。カナダでは、画像付きの健康警告表示が上部の75%を占め、禁煙電話相談の番号も表示されています。

## 世界55か国で公共の場所は屋内全面禁煙



世界の55か国で公共の場所すべてを屋内全面禁煙とする法律などを施行しています。世界各国の受動喫煙防止法規制の状況 2017年時点

**受動喫煙**とは、他人の喫煙でたばこから発生した煙にさらされること。  
施設の種類により、喫煙できる場所が決まります。喫煙できる場所には、喫煙できることを示す掲示が義務づけられ、20歳未満の人は立ち入ることができません。

### なぜ「受動喫煙」を防ぐの？

は、広く知られるようになりましたが、たばこを吸わない人の受動喫煙にもリスクがあります。  
ほんのわずかな受動喫煙でも、心臓発作のリスクは急激に増加。受動喫煙による死亡者は全国で年間1万5千人にのぼると推計されています。

**喫煙が禁じられていない場所でもご注意ください**  
屋外や家庭など、喫煙が禁じられていない場所でたばこを吸うとき

尊重してね、  
たばこの煙を  
吸わない権利

も、まわりの人に煙を吸わせないように配慮しなければなりません。  
加熱式たばこでも受動喫煙は発生します。

健康づくり課 ☎(24)8070



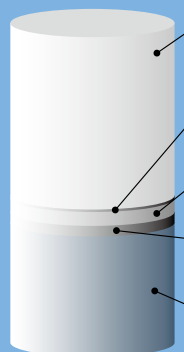
## 社会全体に与える経済損失は4.3兆円

喫煙による1年間の経済損失は4.3兆円。

一方、税金や産業の利益や賃金、他産業への波及効果を含めた

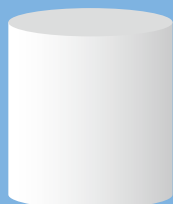
喫煙が及ぼす経済的な貢献は2.8兆円にとどまると推計されています。

喫煙による経済損失  
4.3兆円



- 喫煙関連疾患による労働力損失 2兆 3,596 億円
- 喫煙関連の清掃費用 39 億円
- 喫煙がもたらす火災の消防費用 1,879 億円
- 受動喫煙者の医療費 1,431 億円
- 喫煙者の医療費 1兆 6,249 億円

プラスの経済的影響  
2.8兆円



(医療経済研究機構 2005年度推計)